



学校だより

令和2年8月7日

射水市立作道小学校

185号

温かさにも包まれて

今学期は、例年と異なることが多く、何かとご心配をおかけしましたが、保護者の皆様、地域の皆様のおかげで何とか無事に終業式を迎えることができました。1学期の期間延長が決まった際には、「安全パトロールの回数を増やすよ」「保護者の見守りも増やします」などの声も頂戴しました。温かいご協力、ご支援をありがとうございました。

さて、今年度は「自分からチャンス・チャレンジ・チェンジ」を合言葉に自分の力を高め、「みんなが笑顔で学び合える楽しい学校」を目指しています。本日の終業式では、私が捉えた各学年のチェンジ（成長）を放送で紹介しました。

<1年生>

ひらがなを書くことが上手になり、見つけたことや思ったことをノートや日記にしっかり書けるようになりました。テストも静かに書けるようになって、びっくりしました。また、挨拶がとても上手になりました。朝の「おはようございます」だけでなく、帰りの「さようなら」も上手です。そして、学校内だけでなく、地域の方へも届けていました。1年生でこれができるとは、立派です。是非、これからも続けてください。



〈挨拶運動に参加する1年生〉

<2年生>



〈世話の仕方を教えてもらう2年生〉

野菜と仲良しになりました。毎朝欠かさず水やりをしたり、野菜の先生の話をしっかり聞いて世話をしたりしたので、野菜もみんなの頑張りに応えてたくさん実り、美味しいピザができました。また、生き物とも仲良くなりました。これまで触れなかった生き物と仲良くなった人もいたそうです。毎日続けることや苦手なことにも勇気をもって挑戦することの大切さに気付けたことでしょうか。それもこれも友達と一緒にだから頑張れたことです。

<3年生>

集中力が高まりました。新しい教科の社会科や理科、外国語活動にも意欲的に取り組んでいました。音楽科のリコーダーをはじめ、図画工作科の作品づくりや運動にも一生懸命取り組みました。一生懸命取り組んでみたら、それまで苦手だったことも、好きになることがあるから、不思議です。本当の面白さに気付くからでしょうか。これからも、いろいろなことに、一生懸命取り組み、好きなことを増やしていきましょう。



〈倒立に挑戦する3年生〉

< 4 年生 >



〈自分の考えを挙手で示す4年生〉

好奇心いっぱいの皆さんのよさが、今学期も授業中に表れていました。先生や友達の話をよく聞いて、自分の頭や心でよく考えていました。日頃からよく考えているからこそ、先生が教室に居ないときも、給食を静かに食べられたのだと思います。先生が居ないときにできることが、本当のみんなの力です。これからも、自分の考えと比べながら友達の意見を聞き、さらによく考え自分の言葉で表現する力を伸ばしていきましょう。

< 5 年生 >

高学年としての自覚が芽生え、学習や生活態度に落ち着きが出てきました。その証拠に、1学期、けがで保健室に来室した人が一番少ない学年でした。授業中に課題が終わらなかったときには休み時間返上で頑張ったり、友達と競い合って図書室の本を借りたりする姿が見られました。

「自分を大切にする」とは、自分を甘やかすことではありません。ときには自分を厳しく鍛え、もてる可能性を伸ばすことでもあります。これからも、より一層高学年としての自覚を高め、友達と一緒に自分を鍛えていきましょう。



〈タブレットで調べ学習に取り組む5年生〉

< 6 年生 >



〈粘土でランプシェードをつくる6年生〉

長い休業期間を通して、学校や友達、当たり前の日常の大切さを一番感じていたのは、やはり6年生でした。その言葉通り、1学期を通して一番欠席者が少ない学年でした。ここにも一日一日を大切に過ごそうとする思いが表れています。また、休業中も含め、課題に粘り強く取り組みました。特に図画工作科の作品からは、こつこつ努力を重ねる皆さんのよさが伝わってきました。どんな困難にも負けず、一步一步力強く、たくましく進んでいく、リーダーとしての可能性を感じます。今後ますますの活躍を期待しています。

子供たちにとっては、新しい行動様式や制約の多い生活等、いつもと違う緊張感を味わいながら過ごした1学期だったのではないかと思います。明日から12日間の短い夏休みに入りますが、まずは緊張感から解き放たれ、開放感を十分に味わってほしいと思います。そして、エネルギーを充電しつつ、何か一つ「がんばった」と胸を張れるものをつくって戻ってくることができたらと思っています。

8月20日には、また、元気な道の子の笑顔が揃うように、ご協力をお願いいたします。

「新湊花とみどりの少年団」が表彰！

7月27日に石井隆一県知事も見守られる中、優良花とみどりの少年団として表彰を受けてきました。昨年度の県での発表や「世界で最も美しい湾クラブ」での植樹等、これまでの様々な取組が認められたようです。今年度の栽培委員会の6年生と一緒に喜びを分かち合いました。

